

# スキーと露天の小 旅行 義母と息子 と隣のスナック常 連さん

どんどん変わっていくこの街にも

また寒い冬が来た。

朝。

少しラフな格好で外へ出る。

近所の奥さんと挨拶して爽やかな感じ。

・・・・・・・・だけども視線はどことなく奥さんの太い腰部と股間へ・・・・・・・・。

・・・・・・・・俺たちの住むマンション街は市のはずれ。近くに商店街がある。

お酒を程よくたしなむ義母はよくその  
一角にあるスナックへ通っている。

とある日曜日。俺はシャワーを浴びたあ  
と服を着てリビングへ。

暗くなったリビングの窓の向こう。外は  
寒くて雪がチラついていた。

暖房とテレビの音。

義母はソファに座ってテレビを見ている。

大きなおっぱいが・・・・セーターの  
盛り上がりで分かる・・・・。

胸元をそっと気にしながら紅茶を飲む。

しばらくとりとめもない会話をしていた。

そして話の流れで一緒にハダカでスキーに旅行へ行こうということになった。

「いいところ見つけたわ」

笑顔でママ。

紅茶をもう一杯口へ運んでから義母は  
足を組み変える。

フレッシュと砂糖がガラステーブルの上に乗っている。空のフレッシュはトレイの上で横に転がっている。

「スキー場・・・・・・・・」

ママは腰を触った。



．．．．近くに有名な温泉もあるらしい  
わ．．．．．。

露天風呂。

早速俺たちはスマホでパパッと検索して

そのあとパンフレットを取り寄せた。

パンフレットが届くまでの期間……。

シャワールームで肌色のハダカを流す  
義母は

淫靡なバスタオルをまとめて寝室へ。

・・・・・・・・夜にはスナックで夜な夜な  
客や従業員の男性たちと。

・・・・・・・・。。

大きな目の木が雪の地面に生い茂っている。



分厚いウェアをとりあえず着込んでいる俺と義母。

この日はとりあえず二人きり。

近くに今晚泊まるホテル。

ママと二人、雪の地面に立ちながら滑っている光景が浮かぶ。

義母の分厚いズボンの中には・・・・。

ママは手袋で太もも辺りに手を触れている。

爽やかな真っ白の山と地面。見渡しながら昔知人と日帰りで行った近場のスキー場を思い出した。

その頃はまだ・・・・・・・・。



（体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました）